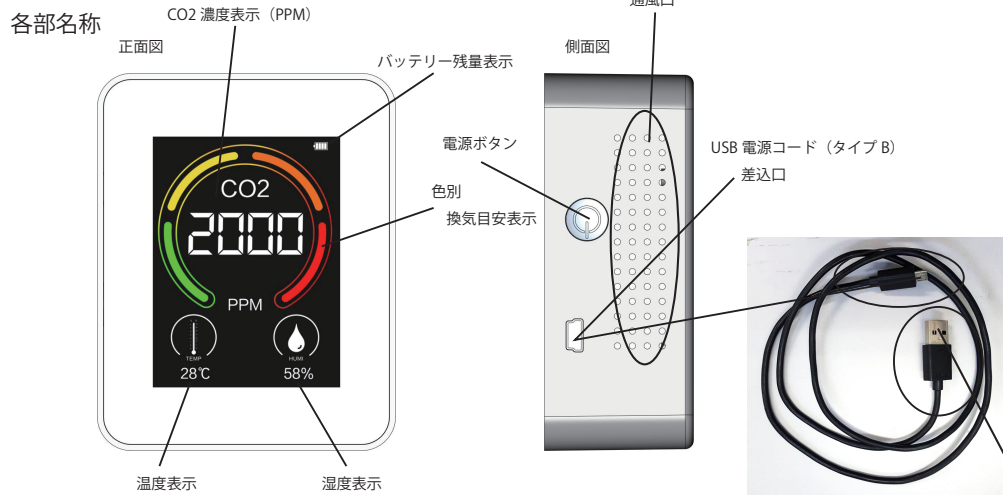


CO2 濃度測定器 取扱説明書

付属品

- 1, CO2 濃度測定器 1台
- 2, USB 電源 (充電) コード 1本 (約1m)



付属品 USB 電源 (充電) コード

～ご使用方法～

- ・右側の電源ボタンを約 3 秒長押しして、電源を入れて下さい。
- ・数秒後、現在の CO2 濃度、温度、湿度が表示されます。
- ・USB 電源コードを接続されてお使いになる場合は、連続してご使用になれます。電源が無い場所でご使用の場合は、内蔵バッテリーに充電をしてからご使用ください。
- ・バッテリー残量が少なくなりましたら、付属の USB 電源コードを使用し充電して下さい。(満充電で約 7 時間)
- ・電源を切るときは、右側の電源ボタンを約 3 秒長押しして下さい。

※本製品は定期的な校正を推奨いたします。校正サービスは7,500円 (税抜)にて承ります。

カラーゾーン表示

カラー	数値	状態
レッド	1501～	過密状態
オレンジ	1201～	要換気
イエロー	801～	注意
グリーン	～ 800	安全

～ご使用になる前に～

- ・製品の画面に保護フィルムがありますので、剥がして下さい。
- ・USB 電源コードを AC アダプター (別売) もしくは USB 電源より使用しますと連続でご使用になれます。
- ・USB 電源コードから、内蔵リチウムイオンバッテリー充電をして下さい。
(充電中はバッテリー残量マークが点滅 (白色) し、満充電になりますと点灯 (緑色) します。
- ・測定精度に影響がでるおそれがありますので、通風口を塞がないで下さい。
- ・高温 / 高湿の環境、強い磁場の出る場所、ほこりが多い場所、空気の質が悪い場所で使用しないで下さい。
- ・USB 電源コードで連続使用ができます。また、リチウムイオンバッテリーが内蔵されていますので、電源がなくても使用可能となります (約 7 時間)。

～製品仕様～

製品サイズ：約 70×90×35mm
 製品重量：約 140g
 素材：ABS 樹脂
 温度測定範囲：-10 ～ 50℃ (精度 ±2℃)
 湿度測定範囲：20 ～ 95% (精度 ±10%)

充電方法：Micro USB
 満充電時間：約 3 ～ 4 時間
 満充電時使用可能時間：約 7 時間
 入力電源：DC5V 500mA
 電池：内蔵リチウムイオンバッテリー 3.6V 1500mAh 5.4Wh

CO2 測定範囲：400 ～ 6000PPM
 CO2 センサー：NDIR (非分散型赤外線吸収法)
 CO2 自動校正：約 24 時間自動校正

保証書

品名	CO2濃度測定器
お買い上げ日	
保証期間	お買い上げ日より 1年間

本品は徹底した品質管理のもと製造していますが、万一製造上の不備による自然故障、取扱説明書にしたがって正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、当社が責任をもって無償で修理いたします。本書を添えてお買い上げの販売店または当社へお申し出ください。

※保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。

- 1、本書のご提示がない場合。
- 2、本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合。
- 3、ご使用者に原因 (落下等) があると考えられる故障・破損。
- 4、天災または火災などによる故障・破損。
- 5、使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・破損。

※本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in JAPAN.)
 本書は再発行いたしません。大切に保管してください。
 有料修理の場合は修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。

※個人情報取り扱いについて
 保証書にご記入いただきましたお客様の個人情報 (氏名、電話番号、住所等) につきましては、修理させていただいた商品の発送やお支払い等に関する連絡以外の目的には使用いたしません。また、これらのデータは決して第三者に譲渡・提供いたしません。

ご住所 _____

お名前 _____

お電話番号 _____

お買い上げ年月日 _____

販売店 _____

■製品は厳密な品質管理の上お客様にお届けしていますが、万一ご購入の製品に不具合がございましたら販売店又は、弊社までご連絡ください。



品質表示
 本体 / ABS樹脂

MADE IN CHINA



発売元 株式会社インテック
 〒110-0005 東京都台東区上野3-2-4ザボン村上ビル4F
 サービスセンター TEL 0120-505-857
 受付時間 平日10:00~17:00
 ホームページ <https://grus.tokyo>



～ 商業施設等の管理者の皆さまへ ～

冬場における「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気の方法

外気温が低いときに、「換気の悪い密閉空間」を改善する換気と、室温の低下による健康影響の防止を両立するため、以下の点に留意してください。

「換気の悪い密閉空間」は新型コロナウイルス感染症のリスク要因の一つに過ぎず、一人あたりの必要換気量を満たすだけで、感染を確実に予防できるわけではなく、人が密集した空間や密接な接触を避ける措置を併せて実施する必要があります。

推奨される換気の方法

① 窓の開放による方法

換気機能を持つ冷暖房設備や機械換気設備が設置されていない、または、換気量が十分でない商業施設等は、以下に留意して、窓を開けて換気してください。

※ 冷暖房設備本体に屋内空気の入力口がある（換気用ダクトにつがっていない）場合、室内の空気を循環させるだけで、外気の入力機能はないことに注意してください。

居室の温度および相対湿度を18℃以上かつ40%以上に維持できる範囲内で、暖房器具を使用しながら、一方向の窓を常時開けて、連続的に換気を行うこと。

※ 加湿器を併用することも有効です。

居室の温度および相対湿度を18℃以上かつ40%以上に維持しようとすると、窓を十分に開けられない場合は、窓からの換気と併せて、可搬式の空気清浄機を併用すること。

窓開け換気による室温変化を抑えるポイント

一方向の窓を少しだけ開けて常時換気をする方が、室温変化を抑えられます。窓を開ける幅は、居室の温度と相対湿度をこまめに測定しながら調節してください。

人がいない部屋の窓を開け、廊下を経由して、少し暖まった状態の新鮮な空気を人のいる部屋に取り入れること（二段階換気）も、室温変化を抑えるのに有効です。

開けている窓の近くに暖房器具を設置すると、室温の低下を防ぐことができますが、燃えやすい物から距離をあげるなど、火災の予防に注意してください。

空気清浄機を併用する際の留意点

空気清浄機は、HEPAフィルタによるろ過式で、かつ、風量が毎分5m³程度以上のものを使用すること。

人の居場所から10m²（6畳）程度の範囲内に空気清浄機を設置すること。

気よどみを発生させないように、外気を取り入れる風向きと空気清浄機の風向きを一致させること。

※ 間仕切り等を設置する場合は、空気の流れを妨げない方向や高さとするか、間仕切り等の間に空気清浄機を設置するなど、空気がよどまないようにしてください。

② 機械換気(空気調和設備、機械換気設備)による方法

必要換気量を満たすことのできる機械換気設備等が設置された商業施設等は、以下のとおり換気を行ってください。

機械換気設備等の外気取り入れ量等を調整することで、必要換気量（一人あたり毎時30m³）を確保すること。

冷暖房設備により、居室の温度および相対湿度を18℃以上かつ40%以上に維持すること。

参考

必要換気量を満たしているかを確認する方法として、二酸化炭素濃度測定器を使用し、室内の二酸化炭素濃度が1000ppmを超えていないかを確認することも有効です。

- 測定器は、NDIRセンサーが扱いやすいですが、定期的に校正されたものを使用してください。校正されていない測定器を使用する場合は、あらかじめ、屋外の二酸化炭素濃度を測定し、測定値が外気の二酸化炭素濃度（415ppm～450ppm程度）に近いことを確認してください。
- 測定器の位置は、ドア、窓、換気口から離れた場所で、人から少なくとも50cm離れたところにしてください。
- 測定頻度は、機械換気があり、居室内の人数に大きな変動がない場合、定常状態での二酸化炭素濃度を定期的に測定すれば十分です。
- 連続測定は、機械換気設備による換気量が十分でない施設等において、窓開けによる換気を行うときに有効です。連続測定を実施する場合は測定担当者に測定値に応じてとるべき行動（窓開け等）をあらかじめ伝えてください。
- 空気清浄機を併用する場合、二酸化炭素濃度測定は空気清浄機の効果を評価するための適切な評価方法とはならないことに留意してください。

※ HEPAフィルタによるろ過式の空気清浄機は、エアロゾル状態のウイルスを含む微粒子を捕集することができますが、二酸化炭素濃度を下げることができません。